

すべての子どもに行き届く子育て支援を拡充します!

- 1 18歳までの医療費を所得制限なしで無償化し、子育て世帯を支えます。
- 2 2022年春に大幅改善した待機児童ゼロの対策を引き続き取り組み、増加する保育需要に対応します。
- 3 「幼児教育保育ビジョン」に基づき、すべての子どもに必要な支援が行き届く体制をつくります。
- 4 公立幼稚園と保育所のあり方について幼保の枠を超えて総合的に検討を進め、持続可能な幼児教育・保育の体制をつくります。
- 5 『宮っ子つながり支える条例(仮称)』を制定し、社会で子どもをしっかり支える理念を示します。
- 6 子育て広場や子育て相談、赤ちゃん訪問事業等を通してお母さんの孤立化を防ぎます。
- 7 ヤングケアラーの社会的認知の向上や早期発見に努め、地域社会と共に必要なサポートを行います。
- 8 広がりつつある子ども食堂が、さらに地域のつながりが支える安心できる子どもの居場所として普及拡大するように支援を継続します。
- 9 ひとり親家庭の母又は父の養育費の確保のため、養育費の取り決めから、保証・履行確保までの総合的な支援を行います。
- 10 里親を必要とする子どもたちを家庭の温かい環境で養育できるように里親制度の普及拡大を図ります。
- 11 放課後居場所事業・放課後キッズを全校展開し、学校を放課後も子どもたちが伸び伸びと過ごせる自由で安全な居場所にします。
- 12 出会いの機会創出や共働き世代の支援、子育てサポート等を通じて少子化対策に取り組みます。
- 13 子どもたちの声を市政につなげるため、イベントの開催や仕組みづくりについて検討します。

地域社会と共に、西宮の教育を支えます!

- 14 改定した教育大綱の理念に沿って、児童生徒や市民に向けた地域社会の一員としてのシチズンシップの醸成、主権者意識の向上に取り組みます。
- 15 堅実に広がっているコミュニティスクールをさらに拡充し、地域と学校とのつながりを支援し、地域ぐるみで子どもたちの育ちや安全を支える取り組みを進めます。
- 16 小中一貫校としてスタートしている西宮浜義務教育学校の教育内容や環境をさらに充実させ、学校や地域の魅力向上に努めます。
- 17 一人一台のタブレットを活用して、児童生徒一人ひとりに寄り添った個別最適化を進めることで、学びの質を高めます。
- 18 オンラインも活用して宮っ子のグローバル教育をさらに前へ進めます。
- 19 温かくおいしい自校調理方式を守り、子どもたちの声を活かして小中学校給食の魅力を高めます。
- 20 部活動への外部人材の活用や複数校制度を通じて、生徒たちの部活動の選択肢を増やすなどの取り組みを進めます。
- 21 不登校児童生徒への支援を拡充すると共に、子どもたちの心のケアを充実させていきます。
- 22 通学支援の新規事業化など、インクルーシブ教育保育のさらなる拡充を図ります。
- 23 市施設の空きスペースを自習室としてこれまで以上に開放し、子どもたちの自主的な学びをサポートします。
- 24 老朽化した学校施設の建替えや大規模改修を進め快適な教育環境をつくります。
- 25 既に整備済みの中学校に加え、全小学校と市立高校の体育館にエアコン設置を進めます。
- 26 学校トイレの洋式化を進めるとともに、教室のLED化を進めるなど、学校の環境改善を積極的に行います。

健康を応援し、安心できる福祉のまちをつくります!

- 27 認知症無償診断制度を新設し、認知症に備え、安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 28 フレイル予防対策として生活習慣病の重症化予防を保健師が個別指導するなど強化します。
- 29 2021年にスタートした健康ポイント制度をいきいき体操などにも拡大を図り、健康増進を応援します。
- 30 歯科医療と口腔健康管理を通じて全身の健康増進、健康寿命の延伸につながる施策に取り組みます。
- 31 地域包括支援センターの体制強化・拡充を図り、地域の中で温かい介護が受けられるまちをつくります。
- 32 2019年に導入した「あいサポート運動」などを通じて障害への理解を深め、障害の有無にかかわらず自分らしく生き、暮らしていける地域を作ります。
- 33 母親の孤立や子育ての不安を支える産後ケア事業を、従前の訪問型だけでなく休養やケアを目的とした宿泊型や通所型を追加拡充します。
- 34 受動喫煙対策や食生活のサポート、心の健康支援など市民の心身共に健康な毎日を支える取り組みを進めます。
- 35 県市統合新病院の2025年開院を実現し、最先端医療を市内で提供するとともに、コロナ禍も踏まえ感染症にも備えた病院とします。
- 36 県市統合病院に救急ワークステーションを設置し、市内の救急救命体制を強化します。
- 37 市立中央病院跡地へ民間病院を誘致し、阪急神戸線以北の一次救急医療体制を維持します。

まちのにぎわい・市民活動を支え、産業基盤を強化します!

- 38 新たに設置した生涯学習プラットフォームを発展させ生涯学習のすそ野を広げるとともに地域活性化を進めます。
- 39 改築する越木岩センターはじめ、公民館等を多世代交流拠点として活性化させます。
- 40 図書館パワーアップ計画をさらに進め、学校と連携した読書振興や書籍貸出ロッカーの導入など市民利便性を高めて行きます。
- 41 宮水学園や就労支援、ボランティア活動支援などを通じて高齢者のいきいきライフを支えます。
- 42 西宮が誇る文化・芸術・音楽や古典芸能などを市民と共に支え、豊かな文教住宅都市を守り、次世代へ受け継ぎます。
- 43 地域と学生をつなぐ仕組みを強化するなど大学交流センターの機能を拡充します。
- 44 市内大学と連携した産学官連携や、女性のスモールビジネス支援などの起業支援を進めます。
- 45 西宮の潜在的コンテンツを市内外への発信を強化し、域内観光支援や都市ブランドの発信を戦略的に進めます。
- 46 就任後、品目数と寄付額が約3倍となったふるさと納税を、新たに体験型返礼品を加えるなどして寄附額拡大を目指します。
- 47 企業版ふるさと納税を活用して、子どもたちが文化芸術を直接体験できる事業の実現に取り組みます。
- 48 地域に根を張り、雇用を産み出している市内事業者を支え、育成を図ります。
- 49 市有施設を活用してバックオフィス事業などを誘致し市内在住者の就労先を創出します。
- 50 老朽化した中央運動公園再整備を進め、ZEB体育館など環境配慮もしながら、市民が憩う、健康・体力づくりの拠点とします。
- 51 文化・スポーツ施設がより利用しやすくなるよう利用時間や運用の工夫を進めます。
- 52 スポーツを核とした甲子園エリアの賑わいの創出を一層進め、鳴尾地域全体の活性化につなげていきます。